

日本地球化学会 2010年第1回評議員会議事録

日時：2010年2月13日(土) 13:00～18:00

場所：JAMSTEC 東京事務所

出席者：海老原充会長，吉田尚弘副会長，鍵裕之，下田玄，鈴木勝彦，谷水雅治，谷本浩志，丸岡照幸，三澤啓司（以上幹事），川口慎介，川幡穂高，高橋嘉夫，橘省吾，中井俊一，西尾嘉朗，野尻幸宏，平野直人，松枝秀和，松本拓也，山中寿朗（以上評議員），松久幸敬（監事），欠席：瀧上豊，山本鋼志

1. 会長挨拶

2010～2011期の活動について，海老原会長から基本方針が示された。

2. 審議事項

2.1. 2009年第3回および4回評議員会議事録（案）が承認された。

2.2. 2010年国際文献印刷社との委託業務の契約が承認された。年会要旨集の委託による販売手数料の取り決めについては現在項目が盛り込まれておらず，次回契約時（2010年11月頃）に再検討することとなった。

2.3. 2010～2011年各種委員長，外部連合の評議員，理事の承認

鍵裕之学会賞等受賞者選考委員長，平田岳史鳥居基金委員長，吉田尚弘名誉会員推薦委員長，吉田尚弘将来計画委員長，鈴木勝彦広報委員長，鍵裕之企画委員長，山本鋼志法人化・財政問題委員長，および海老原充日本化学連合評議員，吉田尚弘日本化学連合理事が承認された。

2.4. 追加委嘱評議員について

会長委嘱の評議員は極力増やさないこととし，役員選出細則（8条評議員は3期連続選出されない）を遵守することが了承された。年会実行委員長が評議員でない場合においても，年会 学会の連携を緊密にするために，企画幹事がLOCに入ることにした。

2.5. 幹事会構成メンバーについて

2.4.と関連して，幹事会メンバーの規定を，次回評議員会で制定することとなった。評議員会へのオブザーバー参加の可否については，総会において議論することとなった。

2.6. 雑誌編集委員長および同編集員会と学会の関係について

これまでは，雑誌編集委員長の選任と編集委員の選任は，個人ベースで行われ，編集委員長および編集委員を決める規定がなかった。選任方法も含め，今後議論することとなった。雑誌の方向性については，学会員の総意として，評議員会が責任を持ち，雑誌のありかたについては，将来計画委員会において議論することとなった。

2.7. GJ賞の学会賞等選考委員会の推薦方針について

これまでの GJ 賞選考では、受賞候補者決定と評議員会での承認、Goldschmidt 会議での授与の間に十分な時間が設けられていなかったため、出版 WG において候補者選考プロセスを含めて議論して提案することとなった。

2.8. 幹事会、評議員会、各種委員会出席旅費支給基準について

法人化に向けて財政の健全化、スリム化を目指し、旅費支給基準について、国家公務員旅費法を参考にルール作りを行うこととなった。

2.9. 各幹事への前渡し金の取り扱いについて

年度ごとに会計を締め、余剰金は会計幹事に返却することとした。今年度の経費の額とその用途について、会計幹事から提案があり、原案が了承された。

2.10. 年会申し込み方法の改善について

2009年広島年会余剰金を原資として、年会投稿システムを改善することが了承され、構築に向けて検討作業に入った。

2.11. 講師派遣事業のスポンサーと広告収入の使途について

派遣事業の窓口を広報委員会とすることが了承された。事業スポンサーから資金援助を受けた場合の使途に関しては、継続審議となった。

2.12. 電子メールによる評議員会での議決方法について

審議期間を充分にとり、投票日時を明らかにし、全員を母数とし過半数で可決とすることでも了承された。

2.13. 会員の異動について

2009年9月1日から2010年1月31日までにあった、以下の会員異動について承認した。

会員異動(2009/09/01~2010/01/31)

【入会】

(09月)

一般正会員

9282632 小宮 剛

東京工業大学大学院理工学研究科地球惑星科学専攻

東京大学大学院広域科学専攻広域システム(2010/01月以降)

9282642 浅井和由

株式会社地球科学研究所

学生パック

9282629 松田伸太郎

東京大学大学院理学系研究科地殻化学実験施設

(10月)

一般正会員

9282649 山口 亮

国立極地研究所

学生パック

9 2 8 2 6 4 8 長嶺 篤

九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻無機生物圏地球化学研究室

(0 1 月) 一般正会員

9 2 8 2 6 3 9 藍川昌秀

兵庫県環境研究センター大気環境科

9 2 8 2 6 5 0 齊藤拓巳

東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻

【退会】

(1 1 月)

一般正会員

2 2 8 0 8 4 8 佐竹 洋 2 0 0 9 / 1 1 / 2 2 逝去

(1 2 月)

シニア正会員

2 2 8 0 5 3 6 白波瀬輝夫

3 2 8 0 2 9 4 松永捷司

一般正会員

3 2 8 1 4 3 1 三田直樹

9 2 8 2 3 5 0 高橋貴文

2 8 1 6 5 8 油井三和

1 2 8 0 9 3 1 藤吉亮子

1 2 8 1 2 7 5 尹 順子

1 2 8 2 0 8 1 山田和芳

2 2 8 0 0 0 8 安孫子 勤

2 2 8 1 4 6 1 牧嶋昭夫

2 2 8 1 4 7 2 中田正隆

2 2 8 1 5 0 2 田切美智雄

3 2 8 0 0 6 7 波多江一八郎

6 2 8 0 1 1 8 本間久英

6 2 8 0 4 6 4 佐竹研一

6 2 8 0 9 7 0 鵜崎 実

7 2 8 0 3 1 5 湊 一郎

7 2 8 0 3 6 0 中西 孝

8 2 8 0 6 4 2 寺島 滋

8 2 8 1 6 3 0 柳瀬信之

9 2 8 0 9 7 9 堀内公子
9 2 8 1 1 5 0 三浦保範
9 2 8 1 8 2 6 北田奈緒子
9 2 8 1 9 6 7 星野光雄
9 2 8 2 1 4 8 佐久間洋一
9 2 8 2 2 3 4 勢田明大
9 2 8 2 3 5 4 杉本 健
9 2 8 2 3 8 1 伊藤政美
9 2 8 2 4 4 7 柴田裕実

学生正会員

9 2 8 2 4 8 3 冬野正史
9 2 8 2 4 8 4 山口和宏
9 2 8 2 5 9 9 三島真理
9 2 8 2 6 3 5 松本恭平

学生パック

9 2 8 2 5 5 7 筒井 新
9 2 8 2 5 7 6 櫻井晴子
9 2 8 2 5 7 9 吉田加奈子

(1 月)

シニア正会員

1 2 8 0 7 2 6 吉岡龍馬

一般正会員

2 2 8 1 9 5 5 野田典広
6 2 8 1 9 2 4 橋本慎治
9 2 8 1 9 5 6 鈴木康弘
9 2 8 2 3 7 0 小岩嘉隆

学生正会員

9 2 8 2 4 5 7 川名華織

学生パック

9 2 8 2 5 2 2 田中浩史
9 2 8 2 5 2 5 高田未緒
9 2 8 2 5 2 6 豊島考作
9 2 8 2 5 2 7 亀田綾乃
9 2 8 2 5 3 5 小倉 健

賛助会員

9 2 8 2 4 4 5 全国大学生生活協同組合連合会

【除名】

一般正会員

2 8 0 5 6 3 鈴木 款
2 8 1 5 8 4 坪 俊彰
2 2 8 1 8 5 8 小寺 透
4 2 8 2 2 8 4 若狭 幸
5 2 8 0 0 8 5 林 剛
5 2 8 1 2 4 4 鮎沢 潤
6 2 8 0 4 5 3 岡本健二
6 2 8 1 9 0 2 下池洋一
6 2 8 2 0 3 1 菅原 透
7 2 8 2 1 1 9 金山晋司
8 2 8 1 8 1 2 小田 浩
9 2 8 2 0 9 6 木村宗人
9 2 8 2 3 6 0 VALERIO, Rubens Antonio
9 2 8 2 3 6 6 WANG, Gehui
9 2 8 2 3 7 2 QING ZHU YIN

学生正会員

6 2 8 2 2 8 0 岡田孝一郎
9 2 8 2 3 3 4 島田雄樹
9 2 8 2 3 5 1 佐野淳子
9 2 8 2 3 6 9 上田哲彦
9 2 8 2 4 2 8 竹田光世

【会員種別変更】

(12月)

	旧種別	新種別
2 2 8 0 7 2 9 吉田 裕	一般正会員	シニア正会員
2 2 8 0 7 7 4 廣瀬勝己	一般正会員	シニア正会員
2 2 8 1 9 9 9 林 一宏	一般正会員	学生正会員
9 2 8 2 4 6 9 高田雄一郎	学生正会員	一般正会員
9 2 8 2 5 1 3 古川善博	学生パック	一般正会員
9 2 8 2 5 3 6 山崎誠子	学生パック	一般正会員

(1月)

2 8 1 4 8 7 牛木久雄	一般正会員	シニア正会員
3 2 8 2 3 2 2 近藤宏壮	学生正会員	一般正会員
9 2 8 2 3 8 3 今野祐多	学生正会員	一般正会員

9 2 8 2 5 5 1	佐藤蓉子	学生パック	一般正会員
9 2 8 2 5 0 7	小泉早苗	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 0 8	松岡かおり	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 1 4	中川裕介	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 1 5	上野振一郎	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 2 0	三好陽子	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 2 1	澤野真規	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 2 4	林 和樹	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 2 8	柴田直弥	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 2 9	山口保彦	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 4 7	森下和彦	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 4 8	楠野葉瑠香	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 4 9	児玉将大	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 5 0	菅原春菜	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 5 6	大木誠吾	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 5 8	城谷和代	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 5 9	江里口和隆	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 6 0	増川恭子	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 6 1	飯野倫裕	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 6 2	牛江裕行	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 6 3	柏原輝彦	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 6 4	伊佐純子	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 6 5	吉崎もと子	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 7 1	平松裕亮	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 7 2	小野森弘	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 7 3	深海雄介	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 7 4	橋口未奈子	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 7 5	藤原早絵子	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 7 7	出水 翔	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 7 8	堀 真子	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 8 5	江端新吾	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 8 6	中尾武史	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 8 7	杉本雅明	学生パック	学生正会員
9 2 8 2 5 9 0	馬瀬 輝	学生パック	学生正会員

日本地球化学会 会員数(2010年1月31日)

会員種別	人数	契約口数	備 考
一般正会員	723		
学生正会員	105		うち、学生パック22名
シニア正会員	63		
賛助会員	10	13	
名誉会員	9		
合 計	910		

3. 報告事項

3.1. 庶務(三澤庶務幹事):平成20年科学研究費補助金研究成果公開促進費の実地検査及び意見交換会(2009.10.08@東大海洋研:蒲生会長,海老原副会長,佐野GJ編集委員長,小畑庶務幹事が出席)。平成21年度科学研究費補助金研究成果公開促進費「定期刊行物」の状況報告書提出(2010.01.16)。研究助成等:2009年第2回鳥居基金助成2件(TE 65とTE 66)。後援・共催等:(共催)(社)プラズマ・核融合学会および(社)日本原子力学会「第8回核融合エネルギー連合講演会」(2010.06.10~11),日本質量分析学会「第58回質量分析総合討論会」(2010)および第1回アジア・オセアニア質量分析会議(2010)。(2010.06.16~18@つくば), (社)日本アイソトープ協会「第47回アイソトープ・放射線研究発表会」(2010.07.07~09@東京)村松康行会員を運営委員として派遣),(後援)日本惑星科学会および小天体探査研究会「始源天体研究会」(2009.11.20@東京),(協賛)日本地球熱学会平成21年学術講演会(2009.11.30~12.02)。一般社団法人日本地球惑星科学連合入会申込(2009.09.25)。2010年年会開催のため立正大学へ会場借用依頼書送付(2009.10.06)。2010~2011年日本地球化学会会長・副会長・監事・評議員への委嘱状の送付(2009.11.04)。2010学会賞等受賞者選考委員会委員・鳥居基金選考委員会委員への委嘱状の送付(2009.11.04)。国際文献印刷との学会業務委託契約,「大会関連業務」委託契約,「ホームページ制作業務」委託契約(2009.12.01)。日本学術会議科学者委員会学術誌問題検討分科会「学術誌に関するアンケート」への回答(2009.12.15)01月末を締め切りとし,「地球化学」への広告募集を行った(2009.12.01)。これまでに3件の掲載申し込みを受け付けた。学会賞各賞・鳥居基金への推薦・応募状況(2010.01.31締め切り分)は,柴田賞1名,学会賞1名,奨励賞3名,鳥居基金(海外渡航2名,国内研究集会1件)。2010年02月06日(土曜日)13:08~19:40 JAMSTEC 東京事務所にて,幹事会を開催。(出席:海老原会長,吉田副会長,鍵,下田,鈴木,高橋,谷水,谷本,丸岡,山本,三澤の各幹事,オブザーバーとして川口評議員)第1回評議員会の議事内

容について整理した。

3.2. 会計 (谷水会計幹事): 2009年度の会計が、まだ閉じられていない旨報告され、南前幹事からの2010年02月06日現在の収支明細報告が示された。

幹事会、評議員会出席旅費計算方法について改訂し、幹事、編集委員会への前渡し金について、必要な金額を査定する方針が示された。

3.3. 会員 (丸岡会員幹事): 会員異動 (2009.09.01~12.31) について報告がなされた。正会員723, 学生会員105, シニア会員63, 賛助会員10, 名誉会員9, 合計910。

3.4. 編集

3.4.1. GJ (佐野 GJ 編集委員長に代わり海老原会長): 2010年発行状況および編集状況が報告された。Vol. 43, No. 6は1月初めに刊行された。Vol. 44, No. 1は2月末に刊行される予定。2010年1月までに受理した論文と合わせると20報が印刷待ちの状態にあり、その他にふたつの特集号が動いていることが報告された。

3.4.2. 「地球化学」(高橋「地球化学」編集委員長): 新編集委員が報告された。小木曾哲 (固体地球化学), 沢田健 (有機地球化学), 高橋嘉夫 (環境地球化学), 谷水雅治 (同位体地球化学), 豊田栄 (大気化学), 益田晴恵 (海洋化学), 三浦弥生 (宇宙化学)。2010年 Vol. 44の編集方針が示された。2000年以前の出版物について、著作権の帰属が明確になっていなかったため、著作権を「地球化学」編集委員会に移譲するよう著者をお願いした。

3.4.3. ニュース (谷本ニュース担当幹事): ニュースおよびニュースレターの発行について報告がなされた。

ニュース電子メール版の配信2009No. 149~220まで71件配信した (12月31日現在)。内訳は、学会からの連絡 (含む年会) 12件, GJ コンテンツ4件, 地球惑星科学連合・連合大会関連6件, 化学連合関連10件, 研究集会・国際学会・講演会など案内17件, 教員・研究員公募情報12件, 研究助成・共同利用・事業提案・研究計画など募集4件, 学術賞推薦募集0件, 訃報1件, その他5件。

ニュースレターNo. 199を「地球化学 Vol. 43, No. 4」巻末で発行した (12/25)。

3.4.4. 広報委員会報告 (下田広報幹事, 鈴木ホームページ担当幹事): 学会 HP で学会員の最新成果, GJ Express Letter を4件, その他を8件, 紹介した。おおよそ月に1本ペースであった。今後トップページの紹介は、会員による GJ の Express Letter および Nature, Science 等の一般誌に限ることとなった。学会ホームページ内に「会員による成果発表」というコーナーを新たにつくり、自薦他薦を問わず、紹介文を掲載することとした。

Goldschmidt2009 を機に英語ページの更新を行った。未完成のため、Goldschmidt2010に向けて 継続して日本語ページから英訳して更新することとなった。

料金を40%下げたにもかかわらず、Web 広告のスポンサーがないことが報告された。

講師派遣事業を2010年1月から開始したことが報告された。本事業は、「最先端の研究者が初等中等教育の場に出向いて、地球や惑星の謎を解く喜びや最先端の科学の現場を伝えることにより、地球化学の視点から理科の面白さを積極的にアピールするとともに、学会と教育現場の交流を促進することを目的」としている。

地球惑星連合大会において、学会の入会案内、GJ の Express Letter のチラシ、GJ の CD、印刷版、「地球化学」誌のバックナンバーの配布を行う予定であることが示された。

学会パンフレットの改訂、GJ チラシを増刷に向け、デザイン変更を含め検討中であり、会計と相談してすすめていくことが報告された。

5. 企画（鍵企画幹事）

企画委員会メンバーは、鍵裕之（東京大、委員長）、平田岳史（京都大）、平野直人（東北大）、川口慎介（JAMSTEC）。

年会後援要旨をホームページ上で記入するシステムを構築する提案がなされ、2009 広島年会の余剰金を効率的に使用して検討していくことが示された。

5.1. 2009年第4回ショートコース報告書が、平田委員から提出された。

5.2. 2009年日本地球化学会「夜間集会報告」が、海老原委員長から提出された。

5.2. 2010年年会@立正大学熊谷キャンパスの準備状況が、福岡孝昭大会実行委員長の代理として鍵企画幹事から示された。立正大学関係者4名を含めた総勢13名のLOCが組織された。年会会期は、2010年9月5日から9日まで。日本化学会、日本鉱物科学会、日本地質学会、日本質量分析学会が共催。発表形式は、セッション制を採用することとなった。

6. 財政・法人化問題（山本財政・法人化問題担当幹事に代わり、海老原会長）

財政・法人化問題検討委員会では、学会を法人化するか否か、財政問題の中心的な課題であるGJの出版経費をどのようにするか、の2点に絞り、WGで議論を進め、委員会全体でWGの提案を議論し、2010年末に幹事会・評議員会に提案書を提出する、という活動方針が示された。

7. 日本地球惑星連合関連：瀧上評議員から地学オリンピックの開催状況、教育問題検討委員会の活動状況報告が提出された。

8. 次回幹事会・評議委員会の日程

幹事会：5月地球惑星科学連合大会期間中に開催予定。

評議員会：6月中に開催，ただし電子メールによる。